

小中連携だより

令和7年11月21日（金）第2号
立川第一中学校区小中連携担当

○小中のつながりを深める取組を進めています！

令和7年10月29日（水）立川市立第一小学校にて第二回の小中連携全体会を行いました。

今回も「まなび部会」「からだ部会」「こころ部会」の3つの部会に分かれて、第一小学校の授業観察の協議や各校での実践の報告、小中で一貫して実践できることなどについて検討しました。

★まなび部会

まなび部会では国・算数・社・理・英の5教科で分かれて話し合いをしました。

【国語】

- ・主語や述語は分かっている。しかし、修飾語はまだ不明瞭だったり、短文を作る活動で主語を抜いたりしている。文法は教えているが、定着は難しい。
- ・今後、実践的なものを取り入れたり、生活に関連付けたりして、中学校までには身に付けさせたい。

【数学・算数】

- ・授業展開で使う教材や資料を事前に確認していきたい。
- ・基礎・基本を押さえて考えさせる授業の展開を検討中。

【社会・理科】

- ・児童生徒たちが疑問をもつことで、話し合いが生まれる。
- ・ねらいを達成して、興味をもちそうな疑問を教師側から提示して資料をもとに考えさせる。

【外国語】

- ・今後、授業始まりのスマールトークを取り入れていきたい。
- ・パフォーマンステストで良かった児童生徒をロールモデルとして活用していきたい。

★こころ部会

【生活指導】

- ・一中の生活指導上の現状の情報共有：服装や頭髪など。
- ・一中校区における挨拶運動について：検討中。

【特別支援教育部（支援教室）】

- ・中学校での合理的配慮具体的な取組について

保護者が申請

→校内委員会で具合的配慮を話し合う。

→本人と確認をして実行をする。

→やってみてどうだったかを本人と担任で振り返る。現状は定期考査についての希望が多め。

【道徳科】

- ・共通してできること:実態に合わせて工夫していくこと。
サークル対話、班での交流、立ち歩き交流、自由発言、資料の工夫など。
- ・次回に向けて:それぞれの工夫の具体策を考えてくること。

★からだ部会

【水泳指導の振り返り】

・着衣泳

浮かぶ練習だけでなく、災害時の実践的対応を意識して取り組んだ。
水難事故の増加を踏まえ、安全教育の一環として位置付けた。

・指導方針

限られた時間の中で「速さ」だけでなく水に親しむことを重視。
友達と教え合う活動を通じて、互いに励まし合いながら上達できた。

・安全確保・成果

小学校での指導の成果として、中学校では泳力が十分に確保されている様子。

【体力アップチャレンジカードの実施について情報共有】

- ・今後も1年間に1回程度実施したり、SNSに関する質問内容を付け加えたりする。
- ・改善案

ご家庭への働きかけ:学期はじめの保護者会などで懸念点や家庭での取組内容をお伝えする。
SNSの危機管理指導を継続する。

○今後に向けて

小中が連携して各教科・部門での協議を続けながら、児童生徒の学びと生活がよりよくつながるよう取り組んで参ります。次回は1月28日(水)に第四小学校において実施します。今後も地域・保護者・学校が協力して児童生徒の成長を支えていければと思います。よろしくお願いいたします。